

組合・企業 探訪



クロッセ秋田にある相談窓口



コロナ禍における終活支援の取組

秋田シニアライフ協同組合

組合の紹介と事業の背景

秋田シニアライフ協同組合（三浦正義理事長）は、高齢化率日本一の秋田県民にとって身近な問題である「終活」における不安や悩み、困りごと等に対して、ワンストップで課題解決を図ろうと、終活に関する葬儀・墓石・家屋解体業者等で設立されました。

組合では、秋田市のJR秋田駅前無料相談窓口「あきた終活支援センター」を設けて、県民の終活に対する相談に対応しています。

この他、「終活フェア」や「終活バスツアー」、「終活カフェ」など様々なイベントを開催していましたが、昨年春以降は新型コロナウイルスの影響により、一切のイベントが開催できない状況が続き、組合の活動をPRする機会が減っていました。

取組内容

そこで、コロナ禍におけるPR活動の一環として、秋田ケーブルテレビの協力により、終活をテーマとした番組を制作・放送したところ、視聴者から好評を得、現在までに9本の番組が作られました。

また、組合員企業の協力により、FMラジオで活動を紹介したり、企業CM



〔組合ホームページ〕

で「あきた終活支援センター」の取り組みを紹介しています。

この他、高齢者の暮らしをサポートするために自治体が設置している地域包括支援センターなどと連携し、無料相談窓口の利用を呼びかけています。

今年、生涯活躍を推進するまちづくり（秋田版CCRC）のモデルケースとして注目されている秋田駅前の拠点施設「クロッセ秋田」に相談窓口を移転したところ、予約なしで気軽に立ち寄ることができることから、分譲住宅の入居者や施設内の医院等の利用者など、新たな利用者が多数見られるようになりました。

期待される効果と今後の活動

設立時から理事長を務めていた鈴木道雄氏の死去に伴い、今年5月の総会

で新たに就任した三浦正義理事長は、「鈴木前理事長の遺志を受け継ぎ、困っている人のニーズに応え、サポートしていくことで、社会に貢献していきたい。」と述べています。

組合では今後、独自に発行する「くらしの便利帳」に組合員企業を掲載して取組を紹介し、周知を図りつつ、状況を見極めながら、コロナ禍前に行っていた各種イベントを順次再開していくとしています。



〔三浦理事長〕

【秋田シニアライフ協同組合】

- ▶所在地／秋田市中通二丁目5番1号
- ▶代表理事／三浦 正義
- ▶組合員数／17名
- ▶主な事業／共同受注、共同宣伝、教育情報
- ▶設立／平成28(2016)年1月5日